

# フィラリア検査で来院の方へ

フィラリアの検査手順に2通りの方法があります。下記の内容を読んで予め検査方法が決まりましたら「**フィラリア検査のみ**」または「**健康診断セット**」とご指定ください。

お決まりでない場合は双方の検査についてご説明いたしますのでそれからお決めください。健康診断セットには心臓病、糖尿病、甲状腺の病気（高齢動物）のオプションもございますので気になる症状のあるかたはご相談ください。



## 「フィラリア検査のみ」の場合





- フィラリア抗原検査キットにて院内ですぐに検査を行います。採血後20分ほどで結果が判ります。



## 「健康診断セット」の場合

- 病院で採血後、血液を分離して検査センターに検査を依頼します。後日結果をご連絡いたします（5～10日前後でのご報告になります。センターに検査が集中する時期はもう少しかかることもあります）。
- フィラリア検査のほかに栄養状態・肝臓胆のう系・すい臓・腎臓・代謝内分泌・血糖値などをチェックする11項目の検査が基本セットになっています。
- 通常院内で行う検査費の半額程度でおこなえます。

## 「健康診断セット」のオプション

犬 CRP		炎症、組織破壊が起こると血中増加する蛋白。炎症性疾患の存在、重症度などを理解する事ができる。
犬 N t - p r o B N P		心臓から分泌されるホルモンの一種で、心臓の機能低下を早期に反映し、心疾患の重症度に応じてその血中濃度が上昇する。
甲状腺ホルモン T4		甲状腺で合成されるホルモンで、生体の基礎代謝を高める機能をもつ。
甲状腺ホルモン FT4		生物活性をもつので FT4 を測定することは重要であるが、以前は測定自体が困難で、主に T4 が測定されてきた。しかし近年では容易に測定できるようになり、また抗 T4 抗体の影響を受けない測定系も開発されたので甲状腺機能検査の主流になってきている。

次のページの同じマークの説明を参照して下さい。

# 検査法、オプションを決める目安



## フィラリア検査のみ

5～6歳以下で特に健康状態が気にならないワンちゃん向き。



## 健康診断セット

健康な状態での基礎データを知っておきたい(健康診断セットでの過去5年分のデータが報告されます。)  
6歳以上・前年病気をしたことがあるワンちゃん向き。



## 犬 CRP

たまに足を引きずったり、抱き上げたり触るとキャンキャン痛そうに鳴くことがある。場所の特定できない痛みや炎症を疑うワンちゃん向き。



## 犬 *Nt-proBNP*

高齢・よく咳をする・心雑音がある・先天的に心臓の弱い犬種である。そんな心臓に不安のあるワンちゃん向き。



## 甲状腺ホルモン *T4*・*FT4*

何となく覇気がない・あまり食べないのに太り気味・慢性的な皮膚病などが気になるワンちゃん向き。

狂犬病予防注射も忘れずに。

〒185-0011 東京都国分寺市本多5-3-6

電話 042-328-1099 FAX 042-328-1097

けやき動物病院

<http://www.keyaki-ah.com/>